©日本経済新聞社2017

日本経済新聞
夕刊
1月12日
（木曜日）
発行所　日本経済新聞社
東京本社　☎(03)3270-0251
〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
大阪本社　☎(06)7639-7111
名古屋支社　☎(052)243-3311
西部支社　☎(092)473-3300
電子版アドレス
http://www.nikkei.com/
購読のお申し込み
フリーコール 0120-21-4946
http://www.nikkei4946.com

ゴルフ会員権 冬でも高値

株高で富裕層購入多く

ゴルフ会員権が値上がりしている。米大統領選後の株高を背景に個人富裕層の資金が流入している。冬場はオフシーズンのため例年は閑散期にあたるが、今年は異例の展開。富裕層の購入が多いリゾート会員権の取引も活況となっている。

関東ゴルフ会員権取引業協同組合（東京・千代田）がまとめた関東圏の平均価格（主要150コース平均）は、5日時点で167万円。2016年12月から上昇が目立つようになり、年明け後もさらに上がっている。直近安値の16年11月末と比べると10万円以上高い。

夏から値下がりが続いた反動もあり「高額コースに個人の買いが戻っている」（仲介大手の桜ゴルフ＝東京・中央）。会員権流通価格が1470万円前後の戸塚カントリー倶楽部（横浜市）や520万円前後の麻倉ゴルフ倶楽部（千葉県佐倉市）など高価格帯の会員権が値上がりしている。近畿や中部のコースは目立った値上がりはみられない。

リゾート会員権の取引も増えている。仲介大手のe会員権（横浜市）は16年12月の取引件数が前年と比べ25%増えた。例年は夏休み時期の8～10月に取引が盛り上がるため、冬に取引が増えるのは珍しいという。